

## 研究題目

# 「朝の読書活動」の充実をめざして ～本校の課題解決のために～

## 目 次

- 1 はじめに
  - (1) 本校の概要
  - (2) 本校の課題
- 2 本校の「朝の読書活動」の取組
  - (1) 時間の確保と具体的な取組
  - (2) 教職員の共通理解
    - ①教育課程における読書活動の位置付けの確認
    - ②「朝の読書活動」の教育的効果の検証結果の掲示
  - (3) 読書環境の整備
    - ①学級文庫
    - ②大桑文庫（職員室前廊下書庫）
    - ③うちどくコーナー（職員室前廊下書庫）
    - ④「こどばの力」向上研究助成金事業
    - ⑤掲示物等
  - (4) 啓発活動
  - (5) 研修・研究・表彰
    - ①朝の読書全国縦断和歌山県交流大会
    - ②研究授業・研究協議会・表彰
  - (6) 継続のための工夫や取組
    - ①継続させる工夫
    - ②「朝の読書活動」アンケート
- 3 本校の「朝の読書活動」の今後の課題  
《参考資料》  
「朝の読書活動」アンケート結果

和歌山市立東和中学校 校長 東方 美喜夫

## 1 はじめに

### (1) 本校の概要

本校は、昭和22年5月3日に、和歌山市の東部の宮前地区に新制中学校として「強く」「正しく」「明るく」を校訓として開校した歴史と伝統を持つ中学校である。校区には中小の工場が多く、商店、住宅が混在し、人口が比較的密集した地域である。

また、校区内の小学校は宮前小学校だけという一小一中学校の単一学区でもあり、「宮前の子は東和の子」と位置づけた小中連携事業が実施ができています。

生徒数 351名、学級数 14（特別支援学級3を含む）、教職員数 34名の規模である。

生徒は、人なつっこく、純朴で素直な生徒が多く、生徒間はいたって仲が良く、反面、新しい出会いがないため、刺激が少なく、生徒間の個人評価も小学校時代から変わることなく、競争心に欠ける面がある。また、家庭に経済的問題をかかえる生徒も多くいる。

### (2) 本校の課題

本校は、「生徒指導」と「学力向上」に課題がある。

そこで、平成21年・22年の2年間、和歌山県教育センター「学びの丘」の学力向上推進支援事業計画にもとづいて全国学力・学習状況調査の結果の分析支援を得ることが出来るようになった。

その分析結果、学力面においては、言語に関する能力を高めることと、主体的に学習に取り組む態度の育成、生活面においては、規範意識の育成が本校の課題であることがわかった。さらに、その土台となる基本的な生活習慣が身につけていない生徒やその家庭に対する関わり方の問題も本校としての大きな課題であることもわかった。

そこで、当時の本校の学力向上委員会のメンバーにより本校の課題解決のための5つの重点ポイントを掲げることができた。

- ①「早寝、早起き、朝ごはん」といった生活のリズムを身につけさせる
- ②家庭での学習習慣を身につけさせる
- ③生徒指導の充実を図る（人権・同和教育、道徳教育の充実も含む）
- ④「朝の読書活動」等の定着を図る
- ⑤わかりやすい授業の実践のための研修を深めていく

## 2 本校の「朝の読書活動」の取組

### (1) 時間の確保と具体的な取組

平成21年度から全校的に「朝の読書活動」に取り組んだ。しかし、生徒が「読書活動」をしている時間に、職員の打合せが長引き、教師が生徒と一緒に読書ができない、本を持参しない生徒が多い等、大きな反省があった。また、生徒の読書への関心も高まらなかった。

そこで、平成22年度から、「朝の読書活動」が生徒の学力向上や豊かな心の形成に効果的であるという分析をふまえ、教職員間で「朝の読書活動」の定着・充実の必要性について共通理解を図り、その時間の確保のため、始業時間を10分早め、職員打合せをさら

に10分早めるという校時の変更を行った。

東和中の『朝の読書活動』について

(平成22年度 職員確認事項)

- 職朝を10分早めて、勤務終了を10分繰り上げます。
- 職朝の短縮化のため、日報に目を通す時間を作ります。
- 連絡事項のある先生は、前日までにお知らせください。
- 緊急の連絡がある場合は、簡潔にお願いします。
- 学年打合せも、学年の黒板等を利用し、できるだけ短く済ませるよう工夫する。
- 担任は、8:30までに教室に入り、無言で読書を開始します。
- 8:30～8:40は全員が読書タイム。(無言で)
- 8:40～8:45 朝会にて欠席者のチェック、集め物や緊急の連絡。
- 8:45から1限の移動。(1限が体育の場合は例外)

(平成23年度 職員確認事項)

○ねらい

- ・落ち着いた状態で1日をスタートさせる。
- ・読書を好きにさせる。
- ・国語力(読解力、想像力、語彙の増加)をつけさせる。

○方法

- ・8時30分～40分で実施する。
- ・学校を離れる日を除き毎日実施する。(テストの日も原則実施)
- ・本は各自で用意する。(用意できていない人は学級文庫等を借りる)
- ・マンガ、雑誌、図鑑は禁止。
- ・教師は8時30分までに教室に行き、読書をしながら生徒を待つ。
- ・一切話しをさせない。席を立たせない。
- ・教師は口に出しての注意はしない。
- ・教師自身が読書を楽しむこと。

「朝の読書」四原則

- ①みんなでやる。
- ②毎日やる。
- ③好きな本でよい。
- ④ただ読むだけ。

(朝の読書活動風景)



## (2) 教職員の共通理解

年度当初に「朝の読書活動」に以下のような疑問や意見等をもつ教職員がいるため、「朝の読書活動」の学校における位置づけ、活動状況及びその効果について確認をし、教職員の共通理解を十分に図っておく必要があった。

教職員の共通理解と前向きに取り組む姿勢がなければ、『朝の読書活動』は一瞬にして崩れる」という意識を常に持ちながら朝読に取り組む必要があることを確認した。

### ①教育課程における読書活動の位置づけの確認

「朝の読書」とは、学校において教育課程に位置付けられた授業が始められる前の一定時間、一人ひとりの生徒が自分で選んだ本を黙読する教育活動である。

この活動は、本校の教育の目的（生徒指導と学力向上）達成の一助とするために学校全体で取り組む活動であるが、時間割の授業としては位置付けられない指導として捉えている。

学習指導というより自己選択や自己決定により自己実現を図っていくための自己指導力の育成を目指すという積極的な生徒指導と関わりの深い活動であり、授業時数以外の教育活動となる。

### ②「朝の読書活動」の教育的効果の検証結果の提示

「朝の読書活動」アンケート実施（年間3回）結果を全教職員に配布し、本校の朝読の活動状況と取り組みの効果について確認する。

《参考資料》「朝の読書活動」アンケート結果参照

## (3) 読書環境の整備

### ①学級文庫（各クラス内）

(学級文庫)

自分で本を選べない生徒や持参しない生徒のために各学級に30冊の文庫本を置き、読書環境の充実も図り取り組んだ結果、朝の静寂の時間が戻り、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を開始できるようになっている。



### ②大桑文庫（職員室前廊下）

平成22年度に、本校の読書活動の取組を添えて、大桑教育文化振興財団に学校図書への寄贈を申請したところ、30万円分の学校図書の寄贈目録をいただいた。図書委員で本屋に行き選定した図書を「大桑文庫」として218冊を購入した。そして、それらの図書を職員室前の廊下に設置した本棚に置き、誰もが気軽に手に取れるようにした。

(大桑文庫のラベル)



③うちどくコーナー（職員室前廊下）

平成22年度末に「うちどく図書」として、うちどくりストから図書委員が選定した94冊の図書も「大桑文庫」と同様に職員室前廊下に配置した。鍵のかからない書庫を生徒の自己管理のもとでしっかり管理できており、一冊の紛失もない。

④「ことばの力」向上研究助成金事業

平成23年度は、和歌山市教育委員会の「ことばの力」向上研究助成金事業に申請したところ、30万円の助成金交付の決定があったため、図書購入資金とすることとしている。

⑤掲示物等

教室掲示（四原則）

「東和便り」におすすめの本紹介  
学校文庫の一覧を掲示

（四原則 教室掲示 全教室）

**基本的に全校一斉で毎朝実施し、先生も教室と一緒に  
無言で読みます。**

**「朝の読書活動」基本の4原則**

**(1) みんなでやる**

（生徒と教師全員が同じ時間に同じ条件で取り組む公平さが基本です）

**(2) 毎日やる**

（1日10分という短い時間でも、毎日行うことで生徒の読む力を育みます）

**(3) 好きな本でよい**

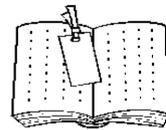
（読む本を自分自身で選びましょう。自分発見につながり主体性が育まれます。

ただし、マンガ、雑誌、図鑑は除きます。教科書も避けましょう。）

**(4) ただ読むだけ**

（感想文や記録は求めません。

本を読んでいるときの楽しく充実した思いを大切にしてください。）



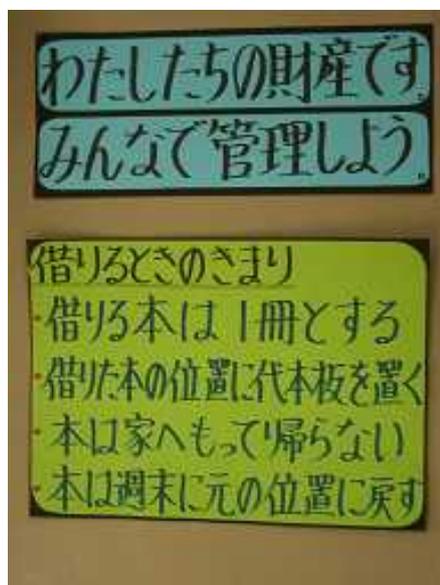
(職員室前の書庫)



(職員室前図書一覧表)



(借りるときの約束事)



#### (4) 啓発活動

生徒や保護者に啓発、理解を促すために「学校便り」、ホームページ、「図書館便り」、PTA広報に本校の読書活動の様子やアンケート結果を公表するとともに、その効果についても掲載するなど、読書活動の推進を図っている。

#### (5) 研修・研究・成果

##### ①朝の読書全国縦断和歌山県交流大会での実践報告

「子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動平成22年度朝の読書全国縦断和歌山県交流大会」（（社）全国出版社協会 平成23年1月22日実施）での実践報告を行った。その際に、資料として（社）全国出版社協会から「朝の読書」導入の手引きや関連する資料の提供があり、教職員全員に配布することができ、教職員の研修の助けとなった。

## ②研究授業・研究協議会・表彰

平成23年度和歌山市教育委員会学校教育課学校訪問の際に、本校の教諭による国語科の研究授業「読書の深化と広がりを目指す国語指導」を実施し、その後、学力向上委員会より「東和中学校の学力向上と朝の読書活動について」提案があり、研究協議を実施し研修を深めた。

平成24年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受賞する。

## (6) 朝読継続のための工夫や取組

### ①継続させるための工夫

- ・読まない生徒、読めなかった生徒に対して、昼休み・放課後、教師と一緒に読書をさせる。
- ・夏休み明けの継続のために、登校日も朝読を続ける。
- ・学校行事の時も、朝読をさせる。
- ・副担任も「朝の読書活動」に教室に入り参加する。
- ・朝の校門指導の場でも「読書」をしながら生徒を待つ。等々

### ②「朝の読書活動」アンケート

朝読に対する意識を継続させるために、「朝の読書活動」の活動状況とその効果を知るためのアンケート（後に掲載）を実施し、結果を「東和便り」やHPにおいて公表している。

アンケートの結果、「朝の読書の効果」については、65%～75%の生徒が肯定的にとらえており、①本を読むのが好きになった。②集中力がついた。授業に集中できるようになった。③朝の静かな時間が好き。④休み時間や家でも本を読むのが好きになった、等々である。

自由記述欄においては、アンケートを採り始めた当初の6月の調査結果では、約4割の否定的な意見が見られたが、2月の調査では、9割以上が肯定的な意見であり、否定的な意見はほとんど見られなくなった。

平成24年度からのアンケートの自由記述欄には、否定的な意見は全くなり、読書の時間を延長してほしいという意見が多くなっている。

## 3 本校の「朝の読書活動」の今後の課題

本校では、平成25年度から教育目標に「確かな学力」という文言を加え、「人権尊重の精神を全教育活動の基盤とした、心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成」とした。この目標達成のため「朝の読書活動」に加えて言語活動の充実を積極的に意識した授業づくりの実現のため、グループ学習を取り入れた授業の研究に取りかかった。

そして、平成27年度より佐藤学氏の「学びの共同体」の考えを取り入れ、生徒が主体的に学ぶ授業をめざした「学び合いの授業づくり」の研究と実践を進めている。先述した本校の課題解決のための5つのポイント⑤について「⑤生徒が主体的に学ぶ授業をめざし

た『学び合いの授業づくり』の推進』と変更した。

この研究と実践については、和歌山市教育研究所による研究支援事業でもあり、スーパーバイザーとして佐藤学氏をはじめ「学びの共同体」のスーパーバイザーが公開授業や公開研究授業のため来校してくれ本校の授業を参観してくれている。そして、スーパーバイザーから助言をいただきながら授業改善に取り組むことができている。今後も全ての教員が相互に授業を公開しながら学び合える職場を作っていきたいと考えている。

「朝の読書活動」については、学校全体をあげて取り組み、7年が経った。毎年、春に10人前後の教職員の異動がある。本校では、毎年4月1日から1学期の始業式までの間に新しく本校に着任した教職員に本校の「朝の読書活動」の取組や成果を伝え、理解と協力を促すことから始まる。

しかし、読書活動が始まってから、この無言の10分間に教室に遅れて入ってくる生徒に教員が声かけをしたり、教員が読書をせず出席簿の手入れをしたりするなどの場面が見られるようになる。そして、そんなクラスから「朝の読書活動」が崩れてくる。

この取組は、どの学校でもできるささやかな取組であるが、それを継続させることの難しさを痛感している。

読書の取組が浅い生徒は、教師が読書を楽しむ姿を見ることから読書に取り組むようになるものである。職員室では、教員相互でオススメの図書についての会話が弾むときがある。「朝の読書活動」の取組についても教員相互で会話が弾む職場になればと感じることがある。

「学び合いの授業づくり」とともに、教員相互で「朝の読書活動」の取り組み方の雑談ができるような職場の同僚性を構築することが、「朝の読書活動」と「学び合いの授業づくり」に学校全体で取り組んでいくことにつながる。そのことが本校の課題解決の一助になると信じている。



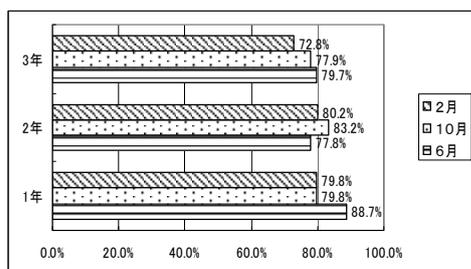
(コの字型の座席配列の朝読風景)

《参考資料》

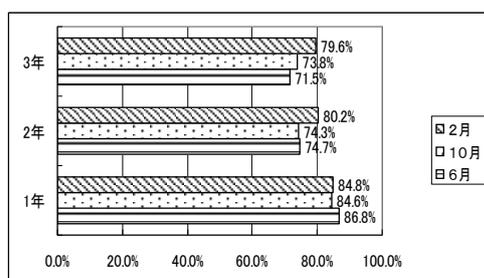
「朝の読書活動」アンケート 結果 取組状況

実現度：4段階の尺度（よく出来ている 大体出来ている あまり出来ていない 出来ていない）でアンケートを実施 「よく出来ている」・「大体出来ている」と回答した生徒の割合を6月、10月、2月のアンケート結果から比較した。

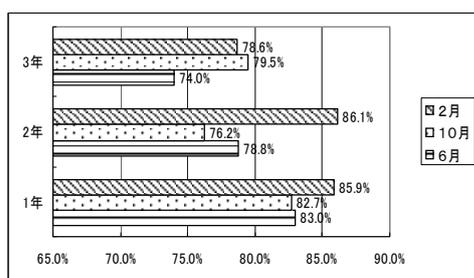
1. 開始時間は守れましたか。



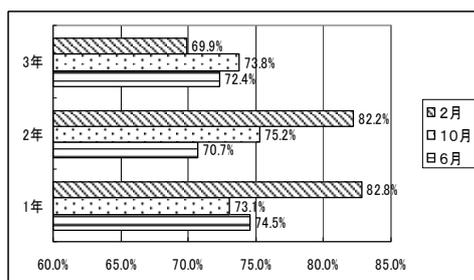
2. 読書の準備はできていましたか。



3. 集中して取り組みましたか。

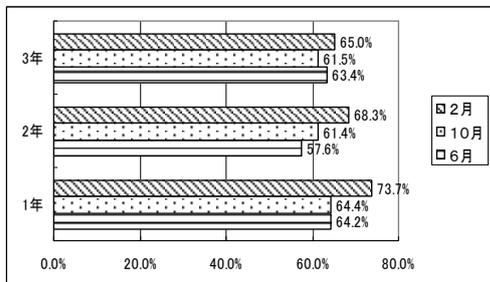


4. 積極的に取り組みましたか。

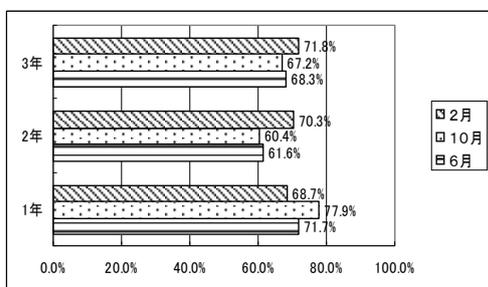


約2ヶ月間、「朝の読書」に取り組み、その効果として、あてはまるもの一つにマークをしてください。

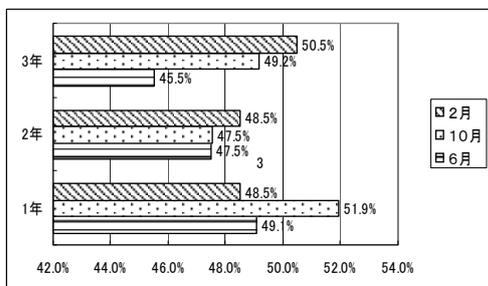
1. 本を読む習慣がたった。



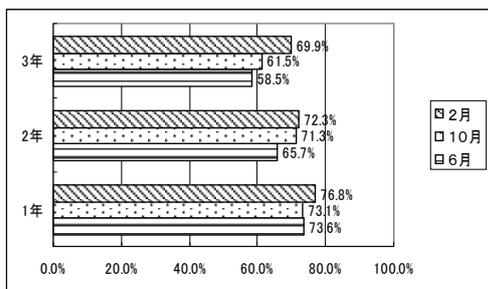
2. 文字や言葉を覚えた。



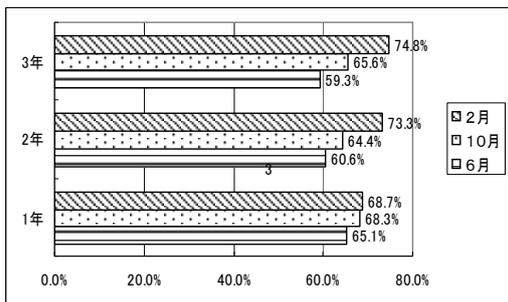
3. 表現の方法を覚え、文章を書くときの参考になった。



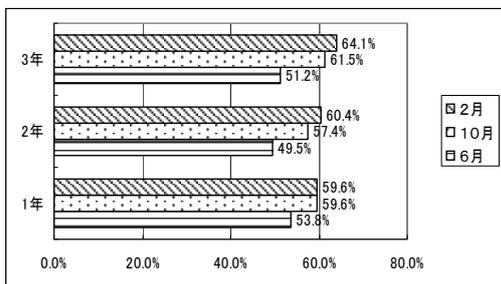
4. 本を読むのが楽しく（好きに）なった。



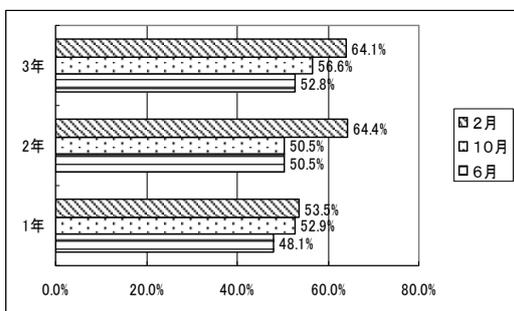
5. 集中力がついた。



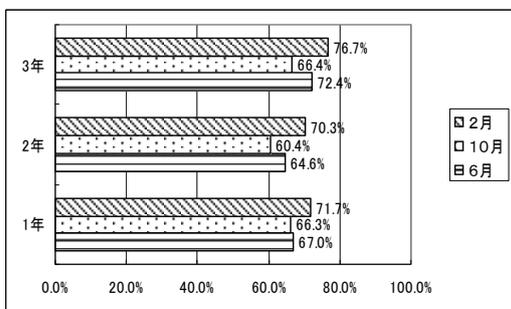
6. いろいろな生き方・考え方を知った。



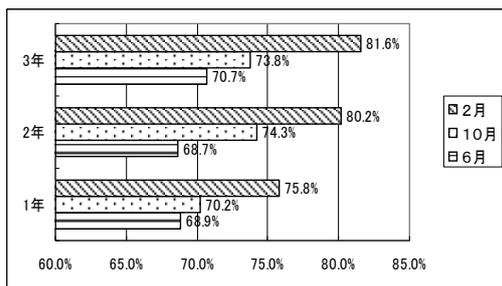
7. 知識・教養が豊かになった。



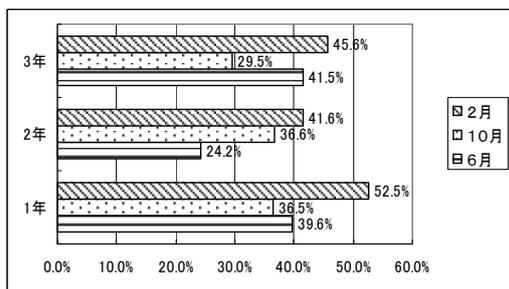
8. 落ち着いて朝の会や授業を受けられるようになった。



9. 静かさになれた。



10. 図書館等を利用したり、学級文庫や友だちから本を借りる機会が増えた。



自由記述欄

【質問】一年間、朝の読書活動に取り組んできました。あなたにとって、あなたのクラスにとって良かったことはどんなことですか。

〔3年生〕

- ・静かさに慣れたことと、集中力がついたことが良い点だと思います。
- ・朝の読書が終わった後も、静かな状態が続くようになった。
- ・よく本を読むようになり、集中力がついたと思います。
- ・クラスが落ち着いた。読むのが速くなった。
- ・朝、騒がしいのが、ほとんどなくなったので、ありがたいです。落ち着いて本を読める時間を作ってくれたので、以前よりも読む冊数が増えました。
- ・本を読むのが楽しくなった。
- ・様々な言葉を知ることができた。
- ・はじめは静かにできていないときがあったけど、毎日やっているとだんだん、クラスが静かになっていて良いなと思った。本を読むことって大切だと思えることができた。
- ・私達のクラスにとって良かったことは、授業を落ち着いて静かに受けられるようになったことです。
- ・最初に朝読を始めたときは、落ち着きがなかったけど、朝読を進めるうちに、静かに読めるようになった。
- ・作文等を書くときは、速く書けるようになった。
- ・良かったことは、本当に本が好きになったことと、静かな雰囲気のまま授業に入るので、凄く集中できたことです。
- ・自習の時でも、皆、静かに取り組めるようになった。
- ・「どんな本がおすすめだよ」とか「こんな本があるんやけど知ってる?」とか言う会話が増えてきて、クラスのムードが良くなってきています。

- ・HRで静かにきくことができたことはクラスにとって良かったです。少し、国語力もついたような気がする。
- ・読めなかった字を読めるようになった。
- ・いろいろな知識や言葉を覚えることができた。
- ・朝読でクラス全体が騒がしいとその日はずっとダラッとしたクラスになっていた。でも、そんな日は数えるほどしかなかったのでよかったと思う。朝読が始まってから、クラスがだいぶ落ち着いたと思う。
- ・クラスはとても静かになったと思います。はじめは読書をせず、しゃべってる人も多かったけど、最近はとても静かに集中できているなと思います。それから、私も含めて休憩時間に読書をする人が増えました。とてもすばらしいことだと思います。
- ・本を読むのが好きではなかったけど毎日毎日、読むと好きになってきた。1限の授業が落ち着いてきた。これからはいろいろな本を読んでいきたいと思います。

[2年生]

- ・この朝読のおかげで前よりもクラスが静かになったと思いました。
- ・前まではマンガばかり読んでいたのですが、小説も負けないくらいに楽しく好きになりました。小説は、ただの分厚い本だと思ってましたが、内容がすごく面白く自分で小説を買いに行くくらい好きになりました。
- ・本を読む機会が前より増えたので言葉をすごく覚えることができたと思う。
- ・静かになったと思います。一日のスタートが朝読で始まるので集中してた。
- ・いろんな本を読み、たくさんの人の考えを知ることができた。
- ・朝読をして、小説を読むことが増えて家でも読むようになった。国語のテストで、本の問題が出て、本をちゃんと読んだから、だいぶ書けた。
- ・集中するときは、すぐに集中できるようになった。本を読むのが楽しくなってきた。想像力がついた。
- ・はじめはうるさかった教室も、日数を重ね、読書との切替が速くなり、読書の時は、決まって皆静かになった。
- ・国語の勉強になった。本を読んだりすることが好きになった。
- ・静かさに慣れた。漢字の読む方とかをちょっと覚えた。
- ・自分にとっては、いろいろな言葉を覚えて、文章を書きやすくなった。クラスでは、朝読を始める前より授業中とか静かになった。
- ・想像力が豊かになった。物語を書くのが（読むのも）好きになった。
- ・私にとっては、いろいろな言葉や表現方法、考え方などを知って、すごくありがたいです。
- ・朝の読書が始まる前に比べて、本を読むスピードが速くなった。
- ・面白い本の時がとても集中できていて、よかった。時々、始まる時もざわついてたけど、だいぶ静かになってきて良かった。
- ・想像が豊かになった。空想の世界がよくわかった。
- ・いろいろな本を読んでいると授業中も本を読みたくなってきた。家でも何冊か本を読むようになった。県立図書館へ行って借りて読むようになった。
- ・本を読む速さ、つまらずに読めるようになった。最初に比べて、読むときの静かさが良くなった。
- ・本を読むことはあまりなかったけど、朝の読書のために、面白そうな本を探すようになった。

- ・良い本が読めた。クラスに統一感が生まれた。
- ・普段は小説は読まないけど、「朝の読書活動」のおかげで読むようになった。

〔1年生〕

- ・先生の話を書くときなど、とても静かになった。本が好きになった。
- ・最初はうるさかったけど、最近は静かになってきた。。1時間目の授業も静かになった。
- ・最初はみんなしゃべったりしていたけど、最近はみんな静かになってきたので集中して本が読める。本を読む時間が増えた。
- ・最初はアニメの小説だったけど、難しい本も読めるようになった。
- ・集中力がつき、文字が読めるようになった。
- ・国語の授業の時、読むのが止まらずにすらすら読めました。
- ・クラスがすごく静かになり、集中力もついて、知識もついた。
- ・私は、この「朝の読書活動」を通して、たくさんの言葉やいろいろな考え方、そして、文の表現の仕方を一年間で、たくさん学ぶことができました。また、今まで読んでここのなかった（小説）ジャンルにも、チャレンジする良い機会になりました。なので、私は、これからも、集中して「朝の読書活動」に取り組んでいきたいです。
- ・小学校の頃は小説を全然読まなかったけれど、中学生になって小説をいっぱい読みたいと思うようになりました。
- ・本に出てくる知らない漢字を知ったりすることができた。
- ・朝読することで集中力がついた。
- ・国語の授業の時、読むのが止まらずにすらすら読めました。
- ・読むのが好きになった。
- ・友だちが良く本を貸してくれた。
- ・本に出てくる知らない漢字を知ったりすることができた。
- ・授業中、静かになることが多くなった。
- ・本がもっと好きになった！これからも読書時間は集中して読みたい。
- ・最近、みんなが集中して授業に取り組んでいる。
- ・本を探す（知る）きっかけになった。
- ・本が好きになって、先輩から本を借りるようになって、約一年間で6冊読んだ。